

「発電用火力設備の水・蒸気系配管の技術基準適合状況調査」に係る  
経済産業省への調査報告について  
(運転開始後20年以上経過している設備)

平成16年9月13日  
北陸電力株式会社

当社は、本日、去る8月11日に経済産業省より指示のありました「発電用火力設備の水・蒸気系配管の技術基準適合状況調査について」(平成16・08・11原第4号)に基づき、運転開始後20年以上経過した設備について、下記の内容で経済産業省に報告しましたので、お知らせします。

## 記

1. 報告対象火力発電設備(運転開始後20年以上経過した設備)  
富山火力発電所(4号機)  
富山新港火力発電所(石炭1号機・石炭2号機・1号機・2号機)  
福井火力発電所(三国1号機)

計6基

## 2. 報告概要

- (1) 今回対象となる6基の火力発電設備での調査対象該当部位は3,164ヶ所、このうち検査既実施部位数は177ヶ所、検査未実施部位数は2,987ヶ所である。
- (2) 検査未実施部位については、週末停止、定期点検の時期等を利用し、できるだけ早期に全数検査を実施する。
- (3) 作業員等の安全確保対策として、運転中は、検査未実施部位の近くへの人の立ち入りを制限する。

以上

## 【添付資料】

- ・ 報告徴収による国の指示事項(別紙-1)
- ・ 火力発電設備(運転開始後20年以上経過)の概要(別紙-2)
- ・ 火力発電設備(運転開始後20年以上経過)の調査対象該当部位等内訳(別紙-3)

## 報告徴収による国の指示事項

発電用火力設備の同様設備について技術基準適合状況を以下のとおり調査、報告すること。

### 対象施設

蒸気タービンを用いる出力1,000 kW以上の発電用火力設備。

### 対象配管

水・蒸気による減肉の可能性のある材料を使用している主蒸気系統、再熱蒸気系統、復水系統、給水系統、抽気系統及びドレン系統の配管。

### 対象部位

腐食・浸食による減肉が生じる可能性のある部位。

### 報告内容および報告期限

対象部位の配管肉厚に係る非破壊検査実績(点検の有無および方法)を8月18日までに報告。

対象部位を非破壊検査していない場合、当該部位の非破壊検査実施計画および安全確保対策等、今後の対応策を運転開始後20年以上経過したものは9月13日までに報告、運転開始後20年未満のものは10月12日までに報告。

以 上

## 火力発電設備(運転開始後 20 年以上経過)の概要

発電所名	ユニット名	定格電気 出力(万 kW)	運転開始年月	経過年月 <sup>注)</sup>	機器メーカー	
					タービン	ボイラ
富山火力	4号機	25	昭和46年1月	33年8月	(株)東芝	石川島播磨重工業(株)
富山新港火力	石炭1号機	25	昭和46年9月	33年0月	(株)日立製作所	バブコック日立(株)
	石炭2号機	25	昭和47年6月	32年3月	(株)日立製作所	バブコック日立(株)
	1号機	50	昭和49年10月	29年11月	(株)東芝	石川島播磨重工業(株)
	2号機	50	昭和56年11月	22年10月	(株)東芝	石川島播磨重工業(株)
福井火力	三国1号機	25	昭和53年9月	26年0月	三菱重工業(株)	三菱重工業(株)

注) 経過年月は平成16年9月現在

## 火力発電設備(運転開始後20年以上経過)の調査対象該当部位数等内訳

火力発電設備名	対象部位数	既実施部位数	未実施部位数
富山4号機	706	25	681
新港石炭1号機	340	22	318
新港石炭2号機	343	23	320
新港1号機	623	49	574
新港2号機	633	13	620
三国1号機	519	45	474
計	3164	177	2987